

一生勉強、一生青春

—教育ある人(一生勉強し続ける人)を目指そう—

学校法人 有朋学園
理事長 林 明 夫

1. はじめに

- (1) 新入生の皆様、保護者の皆様、御入学おめでとうございます。
- (2) 皆様は本日から有朋高等学院の生徒となりました。高校での学習や教育活動は上級学校に進学してからも、また、社会に出てからもすべて役に立つものばかりです。一生涯にわたって皆様の役に立つ、人生にとってかけがえのない学習や教育活動ばかりです。ですから、少しずつでも有朋高等学院の生活に慣れ、一日一日を大切に過ごしてください。
- (3) そのときに一番大切なのは、「高校生としての自覚」をもって学習し、高校生活を送る、学ぶことです。この「高校生としての自覚をもって学ぶ」ことが最も大切と考えます。
- (4) では、高校生として何を身に着けたらよいか、皆様とご一緒に考えましょう。

2. 高校生活で身に着けるべきこと

(1) 「学習の仕方」を身に着けること

- ① どのようにしたら「効果の上がる学習」ができるかを自分の力で考え、よいと考えたことを少しずつでも実行に移すことです。
- ② 私は、高校生はまず「予習の仕方」を身に着けるべきと考えます。
- ③ 教科書を予習していてよくわからないことばに出合ったら、「辞書」を用いてその意味を調べること。調べた内容を「ノート」に書き写し、そのノートを 1 ページ目から何回も何回も読み、ことばの意味を覚えること。書き取り練習を繰り返し、調べたことばとその意味を綺麗な文字で書けるまでにすること。「ことばは力」です。身に着けている「ことばの数」が多ければ多いほど、学力は向上します。

④次に、「復習の仕方」を身に着けましょう

授業が終わったら、その日に先生から習った内容をもう一度家でやり直すこと。そのときには、声を出して教科書やノートを読む「音読練習」と、大切な語句や内容は教科書の書体つまり「楷書」を用いて何回も書く「書き取り練習」が学力を向上させるためには効果的です。学校で習った計算や問題も必ず何回かやり直しましょう。「計算・問題練習」も学力を身に着けるのにとっても役に立ちます。私は、この「音読練習」と「書き取り練習」、「計算・問題練習」

の3つを「学力定着のための3大練習」と名づけました。「学力定着のための3大練習は不可能を可能にする」と私は確信いたします。

(2) 高校生として身に着けるべき第2は、「読書により思慮深さを身に着けること」です。

①「思慮深さを身に着ける」にはどのような本をどのように読んだらよいか、自分でよくお考えください。

②学校の教科書で紹介されている本、有朋高等学院の先生方がお勧めして下さる本は、是非、手に取って、2～3回はゆっくりとお読みください。

③私がお勧めする本は、内村鑑三先生の「後世への最大遺物。デンマーク国の話」と「代表的日本人」の2冊、どちらも「岩波文庫」です。人は死んだ後、後の世に何が遺せるのか。例えば、デンマークを立て直した人と代表的な日本人の5人の方は何を遺したのか。

④少し難しいかもしれませんが、野田智義・金井壽宏著「リーダーシップへの旅—見えないものを見つける—」光文社新書も是非お読みください。皆様がリーダーとはどのような人かを考えるよいヒントとなります。結論は、リーダーとは振り返って見たら同じ志をもつ人がついてくる人です。

3. 最後に

(1) 人生は長い。日本人の平均寿命は80歳を超え、自分の健康によく気をつければ、私たちは90歳、100歳になるまで生きられるようになりました。

(2) よく生きる。せっかく長い人生を過ごせる世の中で生きられるのですから、ゆっくりとものごとを考え、どうしたらよく生きることができるかをこの有朋高等学院での学習や学校生活でお考えください。

(3) 「一生勉強、一生青春」。私はこの相田みつを先生のことばが好きです。

(4) 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」。私はこのドラッカー先生のことばも好きです。

(5) 人生は長いのですから、どうかこの有朋高等学院でゆっくりと学習し、自分の生き方をお考えください。先生方は皆様の最大の味方、理解者となってくれるはずです。

御入学、誠におめでとうございます。

- ・ 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- ・ 公益社団法人 経済同友会 幹事(東京)

